

平成 29 年度 社会教育事業の実績

I 「いのち」をつなぐ教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する

1 家庭教育支援の充実

(1) 家庭教育支援の推進

子どもの「生きる力」につながる資質や能力を培う上で、重要な役割を担う家庭教育を充実させるために、家庭教育を支援する以下の施策を実施した。

① 県家庭教育支援検討部会の開催

ア 県家庭教育支援検討部会

- ・ 11名の委員を委嘱し、家庭教育の充実と家庭教育支援を推進する事業等の方策について検討した。(※ 委員には関係課：子育て支援課、義務教育課を含む)
6/13(火) 10:00~12:00 県庁 1002 会議室 (11名中10名が参加)

イ 県家庭教育アドバイザーの委嘱

- ・ 30名の県家庭教育アドバイザーを委嘱し、教育事務所ごとに実施する家庭教育出前講座や「やまがた子育て講座」等の講師を務めていただいた。
- ・ 30名(村山14 最上4 置賜7 庄内5)、うち新規1名
- ・ 各地区1回 県家庭教育アドバイザー打合せ会議の開催

② 家庭教育の啓発・相談活動 家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」の開設

家庭教育や子育てに不安や悩みを持つ親などからの相談に応じるため、電話等による相談を実施した。

- ・ 相談件数 359件：1月現在(去年同期 315件)
- ・ 広報カード：新小中1年生と乳幼児健診分
- ・ 市町村広報紙掲載依頼：5月・9月(2回)

③ やまがた子育て講座【市町村補助事業】

家庭教育に関する学習機会等の充実を図るために市町村と連携し、主に小学生を持つ親に対する家庭教育に関わる学習機会を提供した。

今年度は30市町村187箇所で開催(予定を含む)(昨年度実績30市町村170箇所)。講話だけではなく、グループワークや座談会など、参加者が主体となる講座実施を推進した。

・ 村山：11市町村 53箇所 未：未実施

上山市(2小学校・2未)、天童市(1小学校・1未)、中山町(1中学校・2未)、寒河江市(8小学校・5未)、河北町(6小学校・1中学校)、西川町(2小学校)、朝日町(3小学校・1中学校)、大江町(2小学校)、村山市(2子育て支援拠点施設)、尾花沢市(4小学校・2中学校・1教委・2未)、大石田町(3小学校・1中学校)

・ 最上：6市町村 31箇所

新庄市(4小学校・5未)、金山町(3小学校・1中学校・1その他)、最上町(7小学校・1未)、舟形町(1小学校・1中学校・1その他)、真室川町(3小学校・1中学校・1その他)、戸沢村(1その他)

・ 置賜：8市町村 61箇所

米沢市(15小学校・8中学校・3未)、長井市(4小学校・1中学校・2未)、南陽市(1その他)、高畠町(6小学校・1中学校)、川西町(8小学校・1中学校)、小国町(1小学校・1未)、白鷹町(4小学校・1未)、飯豊町(4小学校)

・庄内：5市町村 42箇所

鶴岡市(8小学校・2中学校、1未)、庄内町(3小学校・1中学校、3未)、三川町(1小学校・1中学校、2未)、酒田市(12小学校・2中学校、1未)、遊佐町(2小学校、4未)

④家庭教育出前講座【国補助事業】

多忙のため家庭教育の学習機会に参加できない親等に対応するため、講師が事業所等に出向いて、仕事と子育てや、家庭教育の大切さなどについての講座を実施し、理解と認識を深めた。

- ・県内で10箇所程度を予定(村山3 最上2 置賜3 庄内2 実施予定)
- ・村山：寒河江市：(株)高田地研 7/15(土)
西川町：西川町防犯協会第一支部 12/11(土)
山形市：(株)ジョイングループ 2/7(水)
- ・最上：金山町：金山コネクタ(株) 7/11(火)
戸沢村：荒川製作所 10/19(木)
新庄市：山形航空電子(株) 11/22(水)
- ・置賜：高畠町：(株)東北エヌイーエレクトロ 4/19(水)
米沢市：(株)米沢ヤクルト販売米沢営業所 11/13(月)
南陽市：(株)米沢ヤクルト販売南陽営業所 11/20(月)
- ・庄内：酒田市：医療法人健友会本間病院 11/22(水)
鶴岡市：(株)エル・サン 12/12(火)

⑤家庭教育支援フォーラム【国補助事業】

身近な地域における家庭教育支援体制の充実を図るために、家庭教育支援者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

- ・村山：①「私たちにできること
～すべての保護者に家庭教育支援を届けるために～」 5/11(木)
グループワーク コーディネーター：金澤和子氏(県家庭教育アドバイザー)
- ②「睡育のススメ ～生活リズムの改善と不登校予防～」 9/19(火)
講演 講師：前田 勉氏(NPO法人里豊夢わかさ理事長)
- ・最上：①「学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから
～一流スポーツ選手・タレント・東大生に学ぶ生活の法則～」 6/3(土)
講演 講師：小澤治夫氏(静岡産業大学教授)
- ②「家庭教育支援体制づくりを考える
～コーディネータカ up を目指して～」 9/4(土)
事例発表「金山町の家庭教室支援体制づくり」
高橋 章氏(金山町教育委員会)
グループワーク コーディネーター：武田真理子氏(東北公益文科大学教授)
- ・置賜：①「チーム置賜としてできること
～すべての親に家庭教育支援を～」 5/24(水)
講演 講師：錦 啓氏(県家庭教育アドバイザー)
- ②「睡眠とメディア ～子どもの睡眠習慣づくりと家庭支援」 9/27(水)
講演 講師：小関圭子氏(県家庭教育アドバイザー)
- ・庄内：①「みんなで支えよう！おらほの宝
～『地域ぐるみの子育て』を考える」 11/30(木)
グループワーク コーディネーター：武田真理子氏(東北公益文科大学教授)
事例発表：NPO法人にこっと 理事長 片桐晃子氏
東北公益文科大学 4年 金田 直氏、須藤 洋祐氏
- ②「子ども・家庭・地域が育つ環境づくり」 12/14(木)
講演 講師：阿南健太郎氏(児童健全育成推進財団)

(2) 幼児共育の推進【市町村補助事業】

「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して幼児期の子どもを育む『幼児共育』を推進するために、三者の連携による親子のふれあいを大切にした、様々な体験活動などを提供した。

今年度は、29市町村153箇所を実施を予定しており（昨年28市町村149箇所）、地域や自然との関わりを大切にしながら、様々な親子の体験活動を推進した。

- ・村山：9市町村35箇所 未：未実施
上山市(2保育所・2その他)、中山町(3幼稚園・1保育所)、寒河江市(9保育所)、河北町(1幼稚園・1こども園・1その他)、西川町(1保育所)、朝日町(1保育所・3未) 村山市(1保育所・2その他)、尾花沢市(1幼稚園・7保育所)、大石田町(1公民館)
- ・最上：7市町村19箇所
新庄市(1幼稚園・3保育所・2その他、1未)、金山町(1保育所・2その他) 舟形町(1保育所)、最上町(1こども園)、真室川町(2保育所、1その他、1未)、大蔵村(1その他、1未実施)、戸沢村(1未実施)
- ・置賜：8市町村37箇所
米沢市(5保育所・2こども園、2未)、長井市(2その他、1未)、小国町(1公民館)、南陽市(1幼稚園・1その他)、白鷹町(2保育所・2こども園・1その他)、高畠町(2保育所・6未)、川西町(2幼稚園・2保育所)、飯豊町(3幼稚園・1保育所・1こども園)
- ・庄内：5市町村62箇所
鶴岡市(3幼稚園・15保育所・1こども園・6その他、3未)、三川町(1幼稚園・1未)、庄内町(5幼稚園・4保育所・1未)、酒田市(3幼稚園・15保育所・1こども園)、遊佐町(1保育所、2未)

(3) 見守りによる家庭学習習慣づくり【市町村補助事業】

地域の方々による家庭教育支援に向けて、「家庭学習の習慣化」や「子どもの生活リズム」に関連するテーマのもと、親や祖父母、地域住民全般を対象とした学習の機会を設けた。

- ・教育座談会 11/15(水) 長井市谷地公民館「地域におけるコミュニケーション」
- ・教育座談会 11/21(火) 長井市中里公民館「どうする！アウトメディアと食育・睡眠対策」

(4) 家庭学習習慣づくり親子体験塾【国補助事業】

親子で「家庭学習の習慣化」や「生活習慣づくり」を学ぶ機会として、少年自然の家を舞台に、子どもの生活リズムの確立を目的としたプログラムを実施した。

①家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」の実施状況「神室編」

- ・期 日：9月7日(木)～9日(土) 会場：神室少年自然の家(真室川町)
(平日通学合宿形式)
- ・参加者：真室川町内の小学3年1名 4年1名 5年1名 計3名
保護者3名
- ・主な内容：<1日目> 出会いのつどい、オリエンテーション、アイスブレイク、学習タイム、お楽しみタイム、振り返り
<2日目> 朝のつどい、通学登校、フリータイム、学習タイム
お楽しみタイム、振り返り
保護者ワークショップ(子育ておしゃべり会)
<3日目> 朝のつどい、朝学習、親子でおもしろ体験タイム
(火起こし、焚き火、焼き板クラフト、焼きおやつ)、
振り返り、別れのつどい(児童の感想発表等)

<保護者&地域コーディネーター研修会>

- ・講演「家庭学習習慣づくりは豊かな体験から」
講師 阿部 彰 氏 (県家庭教育アドバイザー)
- ・地域コーディネーター情報交換会

②家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」の実施状況「飯豊編」

- ・期 日：9月15日(金)～17日(日) 会場：飯豊少年自然の家(飯豊町)
- ・参加者：小学3年生5名 4年生3名 5年生1名 6年生2名 計11名
(米沢2、長井1、高畠3、川西3、飯豊2)
保護者10名、幼児2名、地域コーディネーター3名
- ・主な内容：<1日目>出合いのつどい(アイスブレイク等)、IKR調査、
ドラム缶風呂、焚き火で団欒、振り返り
<2日目>野外炊飯①、朝学習、昆虫採集・観察、流しそうめん、
標本作り、野外炊飯②、講演、振り返り
<3日目>もちつき、朝学習、アスレチック・自然散策、
野外炊飯、IKR調査、アンケート、
別れのつどい(児童の感想発表等)

<保護者&地域コーディネーター研修会>

- ・講演「『遊び』『学び』の切っても切れない関係
～体験で育てる“学びに向かう力”～」
講師 小野卓也 氏 (県家庭教育アドバイザー)
- ・地域コーディネーター情報交換会

(5) 読育推進ネットワーク整備事業

子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育てるために、乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」の普及・啓発を図り、家庭における「読育(どくいく)」を推進するために、以下の施策を実施した。

①読育推進ネットワーク研修会(4地区)

乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」を普及啓発するために、子供の読書活動の推進にかかわる関係者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

村山：10/17(火) 10/20(金) 最上：11/2(木)
置賜：7/13(木) 庄内：6/22(木)

②読育推進連携講座(2回)

子どもの豊かな心をはぐくむために、歴史等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座を市町村と連携して実施した。

11/23(木)「光と影が織り成す世界で遊ぼう！」
講師：上山昔ばなし切り絵の会

【参加者数】午前の部(幼児と小学1・2年対象)18名(子ども9、大人9)
午後の部(幼児と小学1・2年対象)16名(子ども8、大人8)

(6) 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム

子どもの生活リズム向上に向け、「子どもゆめ基金」～平成29年度地域ぐるみで「体験の風を起こそう」運動推進事業の助成を受けて、このフォーラムを実施した。この事業は、「やまがた教育の日」の主要事業としての実施であり、例年7月に行ってきた県PTA指導者研修会も兼ねて行ったため参加者も多く、講演内容もインパクトがあり、好評だった。今後、家庭教育支援における主要事業として期待できるものだった。

- ①期 日：平成 29 年 11 月 11 日(土) やまがた教育の日
 ②場 所：県生涯学習センター「遊学館」ホール
 ③参加人数：子どもを持つ親、学校関係者等 約 200 名
 ④主 催：山形県教育委員会
 会津・山形体験の風をおこそう運動実行委員会
 ⑤内 容：講演会「『早寝・早起き・朝ごはん』はなぜ効果があるのか
 ～家庭・地域での経験格差を是正しよう～」
 講師 明石要一 氏(千葉大学名誉教授：千葉敬愛短期大学学長)
 事例発表・パネル展 ※PTA指導者研修会を同時開催。

Ⅱ 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る

1 少年期の教育の充実

(1) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業「放課後子ども総合プランの推進」

①放課後等支援検討部会の開催

県事業内容の検討及び市町村事業への支援・検証方策等について協議した。

6/ 2(金) 10:30～12:00 県庁 1502 会議室

②地域コーディネーター研修会の開催

ア 地域学校協働活動研修会(文生課) 10/ 5(金) 遊学館

※(兼)地域コーディネーター研修会

・全体会

講演 「みんなでつくろう『スクール・コミュニティ』」

講師 吉田和夫 氏(教育デザイン研究所代表理事、玉川大学客員教授)

参加者 75 名

・分科会 A 学校支援と放課後子ども教室を一体化させた鮭川村の取組み

参加者 43 名

B 地域の特性を活かし連携した家庭教育支援のあり方

参加者 16 名

イ コーディネーター及び家庭教育支援員研修会

・保護者及び地域コーディネーター研修会 9/ 9(土) 神室少年自然の家

※家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」と同時開催

全体会 県主催「家庭学習習慣づくり親子体験塾」の視察

分科会 講演：「家庭学習習慣づくりは豊かな体験から」

講師：阿部 彰 氏(県家庭教育アドバイザー)

参加者：保護者 3 名

・保護者及び地域コーディネーター研修会 9/16(土) 飯豊少年自然の家

※家庭学習習慣づくり親子体験塾「親子遊学塾」と同時開催

全体会 県主催「家庭学習習慣づくり親子体験塾」の視察

分科会 講演：「『遊び』『学び』の切っても切れない関係

～体験で育てる“学びに向かう力”～」

講師：小野卓也 氏(県家庭教育アドバイザー)

参加者：保護者 10 名 コーディネーター 3 名

③指導者研修会の開催（教育事務所ごとに年2回以上）

ア 村山地区：6/6(火) 寒河江市文化センター及び西根公園

講師：石井 勝 氏（仲間作りに役立つレクリエーション）

佐藤まり子 氏（室内でできる簡単工作・実験）

鈴木秀伸 氏（野外でできる五感を刺激する遊び）

新関さとみ 氏（手軽にできる食育活動）

参加者 159 名

7/3(月) 寒河江市文化センター 講演

演題：「気になるあの子とのかかわり方」

講師：曾山和彦 氏（名城大学教授・教職センター長）

参加者 228 名

9/19(火) 県生涯学習センター「遊学館」 講演

演題：「睡育のススメ ～生活リズムの改善と不登校予防～」

講師：前田 勉 氏（NPO法人里豊夢わかさ理事長）

参加者 223 名

12/5(月) 山形ビッグウィング 事例発表・意見交換会

テーマ1 「豊かな体験活動の場にするための連携」

事例①：放課後子ども教室一体型（高崎地区アフタースクール）

発表者：笹原 幸悦 氏（東根市教育委員会管理課）

事例②：総合型スポーツクラブとの連携（大江町放課後子ども教室）

発表者：白田 篤志 氏（大江町教育委員会社会教育課）

テーマ2 「よりよい支援につなげるための連携」

事例③：放課後児童クラブと学校との連携（天童南部学童保育所）

発表者：矢萩 晴美 氏（天童南部保育所）

参加者 295 名

イ 最上地区：6/14(水) 山屋セミナーハウス 講演

演題：「子どもの発達と人間関係づくり」

講師：佐藤真隆 氏（県レクリエーション協会理事長）

参加者 19 名

10/13(金) 最上総合支庁 講演・演習

演題：「気になる子の理解と支援③」

講師：花輪敏男 氏（FR教育臨床研究所所長）

参加者 31 名

11/28(火) 最上広域交流センター「ゆめりあ」 講演

演題：「子どもの感情のコントロールと大人のかかわり」

講師：大河原美似 氏（東京学芸大学教授）

参加者 54 名

ウ 置賜地区：6/9(水) 南陽市赤湯公民館「えくぼプラザ」 講演

演題：「体験・遊びと子どもの成長、大人の役割」

講師：松田恵示 氏（東京学芸大学副学長・教授）

参加者 181 名

10/17(金) 米沢市すこやかセンター 講演

演題：「ちょっと気になるあの子への正しい理解と適切な支援」

講師：大西孝志 氏（東北福祉大学教授）

参加者 159 名

エ 庄内地区：6/13(火) 三川町公民館 講演

演題：「放課後って楽しい～親も指導者も、もと子ども～」

講師：伊藤誠一 氏（酒田市芸術文化推進員）

参加者 197 名

- 7/11(火) 三川町公民館 三川町社会福祉センター 講話・演習
 講師：伊藤和美 氏(まぜてにぎってバスボム作り)
 結城ななせ 氏(きらきらスノードーム作り)
 佐藤裕子 氏(自然を感じよう～ネイチャーゲーム入門～)
 三浦利由喜 氏(心動かせ・体動かせ・元気体操！)
 阿部浩子 氏(身近な感染症予防について)
 参加者 204 名
- 10/19(木) 三川町公民館 講演
 演題：「気になる子が分かる！変わる！かわり方」
 講師：花輪敏男 氏(FR教育臨床研究所所長)
 参加者 177 名
- 12/15(金) 三川町公民館 講演
 演題：「保護者、家庭への支援のあり方」
 講師：阿南健太郎 氏(児童健全育成推進財団)
 参加者 129 名

④市町村補助事業の実施

- ア 運営委員会・学区毎の協議会(一体型)の設置
 ・運営委員会は全市町村(実施市町村)に設置
- イ コーディネーターの配置:全市町村(実施市町村)に配置(行政担当者含む)
- ウ 放課後子ども教室の実施:33市町村108箇所(H28:32市町村111箇所)
 ※土曜学習型 8市町村30箇所 ※平日開催型 25市町村77箇所
- エ 放課後児童クラブの実施(子育て支援課主管)
 ・申請予定 34市町村310箇所の設置(H28:34市町村296箇所)
- オ 一体型(同じ建物もしくは同じ敷地内で教室とクラブを開設)
 ・5市町村10小学校 市町村補助事業の実施

(2)平成29年度学校・家庭・地域の連携協働推進事業「地域学校協働活動の推進」

地域住民の積極的な学校支援ボランティア活動を通じて学校と地域の連携体制の構築を図り、学校の教育活動を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るために、地域学校協働活動を推進した。

- ①県学校支援活動検討部会の開催 6/6(火) 14:30～16:30 県庁1502会議室
 県事業(コーディネーター研修会)の検討及び市町村事業への支援・検証方策等についての協議
- ②コーディネーター合同研修会(文生課) 10/5(木) 遊学館 (再掲)
- ③市町村補助事業の実施
- ア 運営委員会の設置 ※1本部→(兼)地域教育協議会
- イ 地域学校協働本部の設置 小学校区や中学校区、又は市町村域を対象
- ウ 24市町村86本部、対象校118校
 ・地域教育協議会の開催
 ・地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の配置
 ・学校支援ボランティア活動
 主な内容:キャリア教育、環境整備、読書活動、クラブ
 総合学習(伝統文化、自然、IT、環境等)、登下校指導
- エ 地域未来塾(放課後等の学習支援)
 ・9市町14中学校

(3) 伝統芸能育成事業「子ども伝承活動 ふるさと塾」

子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などを教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進するため、以下の施策を実施した。

① 指導者研修会及び出前講座

- 村山地区、最上地区、置賜地区、庄内地区で指導者研修会と出前講座を実施
- ・村山地区（指導者研修会（6） 出前講座（9））参加人数 227名
 - ・最上地区（指導者研修会（0） 出前講座（5））参加人数 160名
 - ・置賜地区（指導者研修会（1） 出前講座（26））参加人数 530名
 - ・庄内地区（指導者研修会（0） 出前講座（75））参加人数 926名

② 日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」

- ・6月17日（土） 七日町～本町の路上の2か所にて12団体の舞台発表
（※ ふるさと塾賛同8団体、一般4団体）

③ その他

- ア 市町村総合交付金の活用（35市町村）
- イ 賛同団体の集約（現在（303）団体）（昨年度同時期（291））
- ウ ふるさと塾アーカイブス取材候補団体の取材・編集進行中
（映像確認・団体紹介文の作成・承諾書の提出を随時依頼）
- エ 他事業との関連：各地区民俗芸能懇話会の立ち上げ

(4) やまがた・ふくしま少年少女交流事業

山形県少年自然の家や飛島において、山形県内の児童・生徒と福島県内の児童・生徒が交流し、隣県民の友情を育み、「人と人とがつながる力」を育成するものである。

- ①主管：山形県金峰少年自然の家
- ②後援：福島県教育委員会
- ③参加費 3,200円（食費実費）
- ④福島県からの送迎は貸切バスを利用。
- ⑤日程・場所（今年度は島の体験のみの開催）

島の体験 6月30日（金）～7月2日（日）

金峰分館海浜自然の家及び酒田市飛島

参加者：福島小学生11名、山形小学生26名

高校生サポーター9名、一般ボランティア4名 計50名

プログラム概要

- <7月1日>○福島県の小学生、海浜自然の家到着 ○オリエンテーション
- <7月2日>○出合いのつどい ○飛島散策 ○海岸清掃
○磯遊び ○クラフト活動 ○野外炊飯
- <7月3日>○ウミネコの餌付け ○野外炊飯 ○振り返り
○別れのつどい

2 青年期の教育の充実

(1) 地域青少年ボランティア活動推進事業

「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進のため、中央センターと4つの地区センターを設置して、情報の収集・提供や研修・交流機会の拡充を図った。

①中央センター事業

ア 県地域青少年ボランティア推進会議 第1回 5/2(火) 第2回 3/6(火) 予定
 イ YYボランティアビューロー

- ・サークル活動調査 (6月, 12月)
 <6/1 現在>活動中のサークル数 52、会員 803 名 (中学生 295、高校生 434)
 (昨年度同時期 サークル数 67、会員 1,122 名)
 (※サークルの定義を整理し、青年の地域活動団体を別途調査)
- ・ホームページによる情報発信
- ・季節ごとの体験ボランティア
 <夏の体験ボランティア> 7月~9月 35市町村 126企画 1,237名
- ・YYボランティアに関する出前講座: 10箇所 受講者計 722名
- ・全日制高校生3年生のボランティア活動実態調査
 生活全般 78.4%, 学校の活動外 32.7%, 学校の活動 72.7%

ウ 関連事業 (県青年の家主催事業)

- ・YYボランティアの集い (全県規模の交流と、活動意欲の向上)
 高校生・中学生等 43名 12月9日(土)~10日(日) 1泊2日
 活動事例発表会、交流会、ワークショップ等、交流に資する活動
- ・地域ボランティア講座 (YYボランティアサークル及び会員の増加)
 11月4日(土)川西町7名、2月4日(日)山形市5名
 ボランティアに関するワークショップ
- ・ボランティア実技研修会 (ボランティア活動に役立つ技能の習得)
 中学生・高校生等 26名 9月2日(月)
 意欲向上に資する講義と技能向上に資する実技講習
- ・ボランティア関係者研修会 (地域青少年ボランティア支援者の支援力の向上)
 ボランティア指導者・担当者 21名 6月1日(木)
 青少年ボランティア活動支援に係る講義、ワークショップ等

②地区センター事業

ア 地区地域青少年ボランティア推進会議: サークル担当者との連絡調整・情報交換。
 年2回。

イ 中学生ボランティアリーダーセミナー

ボランティア活動の意義や楽しさを学ぶ研修 (実習や講話、ワークショップ等)

- <村山> 県青年の家 8/9(水)~8/10(木) ※1泊2日
- <最上> 神室少年自然の家 8/9(水)~8/10(木) ※1泊2日
- <置賜> 飯豊少年自然の家 8/2(水)~8/3(木) ※1泊2日
- <庄内> 金峰少年自然の家 8/3(木)~8/4(金) ※1泊2日

地区	村 山	最 上	置 賜	庄 内
期日	8/9(水)~10(木)	8/9(水)~8/10(木)	8/2(水)~8/3(木)	8/3(木)~8/4(金)
参加者	101名	19名	28名	29名
場所	県青年の家	神室少年自然の家	飯豊少年自然の家	金峰少年自然の家
内容	アイスブレイキング、講義、 企画演習、施設訪問実習	アイスブレイキング、講話、 高齢者施設訪問、 地域活動団体との交流	アイスブレイキング、 企画演習、実技講座、 施設訪問実習	アイスブレイキング、講話 実技講座、企画演習 施設訪問実習

ウ YYボランティアサークルセミナー
サークル会員を対象に会員間の交流とスキルアップを図る

地区	村山	村山	村山
期日	10/21(土)	11/12(日)	2/10(土), 11(日)
参加者	10名	15名	名
場所	山形市	東根市	寒河江市
内容	アイスブレイキング、 ハロウィンパーティーの実践	アイスブレイキング、 バルーンアートでの交流実践	アイスブレイキング、 冬祭りでの交流実践
地区	最上	置賜	庄内
期日	2/3(土)	12/17(日)	12/17(日)
参加者	100名	12名	17名
場所	新庄市	南陽市	鶴岡市藤島
内容	アイスブレイキング、 サークル活動内容共有、 だがしや楽校	アイスブレイキング、 だがしや楽校	防災ゲーム、防災料理体験 活動紹介

(2) 青年による持続可能な地域づくり推進事業

①事業趣旨

高校生が卒業後スムーズに地域活動に加わることができるように、地域活動に取り組む若者（青年・大学生等）と高校生がともに地域課題について考え学びあう。

②事業概要

組織：地域活動を実践している若者30名（村山9、最上8、置賜6、庄内7）
4教育事務所に実行委員会を編成し、高校生との学びの場（高校生地域活動セミナー）を企画運営する

③内容

ア 県実行委員会

- ・第1回県実行委員会：地域課題に関する学び、地域活動の事例共有等

日時：7/9(日)

場所：県青年の家

内容：アイスブレイキングゲーム

事業概要説明(事業概要の説明、事業の進め方)

講演「高校生が地域・社会で主体的・自主的に活動していくことができる環境とは？」

認定NPO法人カタリバ 山田 将平 氏

グループディスカッション(地区別)

高校生ワークショップのアイデア出し

- ・第2回県実行委員会

日時：2/18(日) 予定

場所：県青年の家

内容：事業の振り返り、成果の共有

イ 地区実行委員会 4地区で高校生ワークショップの企画について検討。

- ・村山地区 6/20、7/25、10/5、11/30(4回)

- ・最上地区 5/30、6/27、7/27、9/14、10/10、11/16、12/12、1/26(8回)

- ・置賜地区 6/29、7/18、8/22、8/30、9/12、9/26、10/11、10/25、11/14、11/20、12/5、1/16(12回)

- ・庄内地区 6/30、9/13、10/25、1/16(4回)

ウ 高校生地域活動セミナー

- ・村山地区 10/15 大石田町 高校生 10 名
11/19 中山町 高校生 9 名、大学生 4 名
- ・最上地区 12/17 舟形町 高校生 9 名、地域住民 21 名
- ・置賜地区 11/26 長井市 高校生 16 名
- ・庄内地区 1/21 県立酒田光陵高校 高校生 27 名
2/ 2 県立遊佐高校 高校生 18 名

(3) 青少年環境教育事業（飛島を舞台とした青少年の自立を促す環境教育事業）

フリースクール等に通う中学生や高校生を対象とし、飛島を舞台に海岸漂着物等を題材にした体験型環境教育プログラムを開発・実践することで、就学・就労への意欲を育むとともに、海岸漂着物問題に対する関心を高め、積極的にその問題に自ら取り組める人材の育成を図る。

①事業の内容

- ア 青少年の自立のための個に応じた体験型プログラムの開発
- イ 飛島を教材とした宿泊型・体験型の環境学習の実施
- ウ 宿泊型・体験型の環境プログラムの有効性の検証

②日程：平成29年 8月 8日(火)～ 9日(水) 1泊2日

活動場所：酒田市飛島 宿泊場所：沢口旅館（飛島）

⇒荒天のため 金峰分館海浜自然の家 参加費：3,800円/人

交通手段：米沢発着の貸切バス

③実施結果

- ア 参加者：フリースクールに通う中・高校生等 13 名 引率指導者 5 名
- イ 当日、高波のため定期船「とびしま」が欠航になり、海浜自然の家での活動となった。（海洋ごみ問題学習、海岸クリーンアップ活動、海釣り体験 他）

3 成人期の教育の推進 4 高齢期の教育の推進

(1) 成人期・高齢期教育担当者研修事業

（学びと協働による地域コミュニティ活性化事業・社会教育職員研修）

成人期・高齢期における豊かで活力ある地域社会を形成するため、市町村の事業等の現状を調査するとともに、よりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう研修会を実施した。

①成人期・高齢期教育領域における市町村の事業推移・現状（社会教育事業等）

事業年度	成人一般	高齢者
H26	1,212 270,770	212 35,426
H27	1,355 310,942	225 37,197
H28	1,436 305,555	229 39,474

上段：事業数
下段：参加者数

②指導者研修会の開催

- ・県生涯学習センターにおいて「生涯学習関係職員研修事業」「高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業」「シニア地域実践活動支援事業」「山形学推進事業」等を実施。
- ・県生涯学習振興室において、退職予定の教職員を対象とした「地域コーディネーター等人材発掘」のための研修会を実施。

Ⅲ「地域」とつながることで、子どもと大人の社会力を高め、地域の教育力の向上を図る

1 地域との連携協力の推進

(1) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業

①県推進本部・推進協議会の設置（文生課） 2月6日（火） 実施

県の事業連携の在り方や県全体の推進体制を計画・検証するとともに、企業等の関係機関へのPRを行う。

ア 学校支援活動検討部会：6/6（再掲）

イ 放課後等支援検討部会：6/2（再掲）

ウ 家庭教育支援検討部会：6/13（再掲）

②連携協働サポートチームの設置

ア 教育事務所を中心に市町村推進協議会の立ち上げサポート

市町村の実態を調査すると共に、総合的な教育支援体制を構築し、運営組織の見直し、他部局との連携を図る組織作りを支援する。

イ 有識者、統括コーディネーター、社会教育主事等でサポートチームを組織し、市町村の訪問や研修会等を通し、優れた実践の普及啓発を図り、市町村の教育プラットフォームの構築と総合的な地域本部の設置を推進する。

・村山地区：8/18 村山総合支庁西村山地域振興局 参加者48名

講話：栃木県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐 井上昌幸 氏

・最上地区：8/31 最上広域交流センターゆめりあ 参加者22名

事例発表：西川町教育委員会 学校教育課主幹 丹野宏紀 氏

小国町 統括コーディネーター（兼）CSディレクター
渋谷洋司 氏、松井知恵 氏

・置賜地区：11/21 南陽市赤湯公民館 参加者41名

講話：教育デザイン研究所所長・玉川大学客員教授 吉田 和夫 氏

・庄内地区：9/21 余目第三公民館 参加者32名

講話：昭和女子大学 特任教授 興梠 寛 氏

③各施策を一体的・総合的に推進するための統合補助金制度

ア 予算の範囲内で、各事業の補助金を弾力的に運用可能

(2) 学校支援地域本部事業（再掲）

(3) 放課後子どもプラン推進事業（再掲）

(4) 学びと協働による地域コミュニティ活性化事業

①社会教育関係職員講座

社会教育関係職員初任者講座

・対象：市町村教育委員会社会教育関係職員 公民館関係職員等 経験2年未満

【1回目】 6/15（木） 県生涯学習センター「遊学館」〈参加者73名〉

講師：山形大学地域教育文化学部准教授 安藤耕己 氏

県社会教育委員 金澤和子 氏 他

【2回目】 10/12（火） 県生涯学習センター「遊学館」〈参加者64名〉

講師：とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人 氏

②社会教育関係職員スキルアップ講座

- ・村山 8/23(水) 県生涯学習センター「遊学館」 <参加者12名>
- ・庄内 8/30(水) 庄内町余目第二公民館 <参加者13名>

「参加者の満足度と意欲がアップするカミシバイ方式グループワークを学ぼう！」

講師：松田道雄氏(尚絅学院大学エクステーションセンター特任教授)

③市町村研修等支援事業(出前講座)【県社会教育連絡協議会助成事業】

期日・場所：各市町村の計画による

(5) PTA指導者研修事業(社会教育研修事業)

県内のPTA活動に携わるリーダーが一堂に会し、PTAの運営や活動に関する先進事例の発表をもとに研修を深め、これからのPTA活動の活性化と、家庭・学校・地域を結ぶPTAのリーダーとしての資質の向上を図った。

①優良PTA表彰事業

ア 優良PTA県教育委員会表彰選考委員会 平成29年5月24日(水) 開催

イ 優良PTA県教育委員会表彰(11団体)

- ・天童市立荒谷小学校PTA
- ・尾花沢市立宮沢小学校PTA
- ・蔵王温泉PTA
- ・川西町立東沢小学校PTA
- ・遊佐町立高瀬小学校PTA
- ・県立米沢興譲館高等学校教育後援会
- ・河北町立溝延小学校父母と教師の会
- ・最上町立富沢小学校保護者と教師の会
- ・大蔵村立大蔵中学校父母と教師の会
- ・長井市立伊佐沢小学校PTA
- ・県立山形中央高等学校PTA

ウ 優良PTA文部科学大臣表彰

<高等学校関係>県立山形中央高等学校PTA

<小・中学校関係>天童市立荒谷小学校PTA、遊佐町立遊佐小学校PTA

②PTA指導者研修会

ア 期日：平成29年11月11日(土) やまがた教育の日

イ 会場：県生涯学習センター「遊学館」

ウ 「子どもの生活リズム向上山形県フォーラム」と同時開催(再掲)

参加対象：子どもを持つ親、学校関係者等 199名

内容：講演会「『早寝・早起き・朝ごはん』はなぜ効果があるのか
～家庭・地域での経験格差を是正しよう～」

講師 明石要一氏(千葉大学名誉教授：千葉敬愛短期大学学長)

事例発表(優良PTA文部科学大臣表彰 3団体)

パネル展(優良PTA県教育委員会表彰11団体)

(県青少年教育施設)

③PTA資料「これからのPTA 47」の作成

ア 優良団体実践事例等の編集：600部 県内各学校等への配布(2月中)

IV 「いのち、学び、地域」をつなぐ県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

1 社会教育主事養成事業

(1) 東北大学社会教育主事講習

- ◇日程：6/12(月)～6/13(火) 於：県青年の家
- 7/3(月)～7/8(土) 於：磐梯青少年交流の家
- 7/24(月)～8/9(水) 於：東北大学

- ア 県内研修会では、主に演習テーマの設定に時間を費やした。
 イ 東北大学では、すべての班による演習発表会を開催

◇受講者：15名（教職員10名 市町村職員5名）

	村山	最上	置賜	庄内	計
小学校	1	0	2	0	3
中学校	1	2	1	1	5
高・特支	0	0	0	2	2
県行政	0	0	0	0	0
市町行政	2	2	0	1	5

◇受講者数の推移

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22
人数	34	32	30	32	25	24	19	20	21
年度	23	24	25	26	27	28	29		
人数	19	19	19	15	15	14	15		

(2) 国立教育政策研究所社会教育主事講習

- ・社会教育主事講習Aについては受講者なし。社会教育主事講習Bについては1名受講。
 (出向先の国費派遣)

(3) 社会教育主事有資格教員研修

- ①期日・場所：各教育事務所
- ・村山： 8/18(金) ・最上： 7/28(金)
 - ・置賜： 11/21(火) ・庄内： 11/16(木)

2 視聴覚教育推進事業

視聴覚教材の自作化を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教材提供を可能にすることにより、郷土に誇りを持ち地域とつながる心を持つ人材を育成するため、公益財団法人山形県生涯学習文化財団と共催で自作視聴覚教材コンクールを実施した。

(1) 第66回自作視聴覚教材コンクール

審査会に出品された作品を学校教育部門、児童生徒作品部門、社会教育部門の3部門で審査を行った。

①第66回コンクールについて

- ア 実施要項発送 6月19日(月) ・受付期間：12月8日(金)～12月18日(月)
- イ 審査会(非公表)：平成30年1月19日(金) 遊学館
- ウ 発表会・表彰式：平成30年2月10日(土) 遊学館
- エ 出品数：計29本
 - ・学校教育部門5本(映像2、紙しばい2、デジタルコンテンツ1)
 - ・社会教育部門16本(映像5、紙しばい10、デジタルコンテンツ1)
 - ・児童生徒作品部門8本(映像4、紙しばい3、デジタルコンテンツ1)
- オ 入賞数：最優秀賞4本(映像3、紙しばい1)、優秀賞8、入選17
- カ 発表会・表彰式では最優秀作品の発表と優秀・入選作品の展示を行う。

(2) 平成29年度全国自作視聴覚教材コンクール

山形県からの出品19：優秀賞2、入選5)

(昨年度 出品20：最優秀賞1、優秀賞1、入選4)

優秀賞

【中学校部門】「森は私たちの先生ー村山市・ふるさと教育の森ー」

制作：北村山視聴覚教育センター

【社会教育部門】「鮭川歌舞伎ー受け継がれる伝統の技ー」

制作：石川麻衣子（鮭川村）

入選【社会教育部門】5作品

(3) 視聴覚教材の普及

郷土に根ざした作品の複製を通して郷土愛の醸成に資する。

○全国コンクール優秀作品の複製・活用

○全国及び県コンクール出品作品の「ふるさと塾アーカイブス」への掲載

(4) 視聴覚教育功労者表彰

○文部科学大臣表彰：推薦なし

○日視協 各地功労者：太田恒彦氏（村山市）

○全国視聴覚教育連盟：推薦なし

(5) 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体事業費補助金

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した。

○県婦人連盟（婦人団体事業費補助金：84千円）

○県PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：46千円）

○県高等学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：27千円）

○県特別支援学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金：37千円）

○ボーイスカウト県連盟（ボーイスカウト事業費補助金：42千円）

○県社会教育連絡協議会（県社会教育連絡協議会事業費補助金：110千円）

3 社会教育施設的环境整備

(1) 県立図書館の整備・充実

平成27年度に策定した「山形県立図書館活性化基本計画」に基づき、大規模改修に向けた基本設計・実施設計書を作成した。

また、蔵書へのICタグの貼付は3ヶ年計画の3年目として実施した。

(2) 県立博物館の整備・充実

「おもしろく、ためになる博物館」を実現するため、各展示会においては、専門的な内容をわかりやすく、身近に感じてもらえるように努めた。プライム企画展「GAGAKUーやまがたに息づく宮廷文化ー」では、雅楽の魅力を感覚的に捉えてもらおうとミュージアム・コンサート等のイベントを複数開催し、体験型展示の可能性を広げた。

また、生涯学習の交流拠点としての役割を担うべく、南東北インターハイを記念した無料開館やナイトミュージアム等を通して、博物館の魅力を幅広い層の人々に発信した。

(3) 青少年教育施設の整備・充実

野外活動の際の利用者の安全確保を図るため、朝日少年自然の家のAED更新や海浜自然の家におけるドクガ対策の防除・除草、飯豊少年自然の家における松くい虫対策のための伐倒駆除、ナラ枯れ対策防除を行った。

また、金峰少年自然の家の天体望遠鏡の保守点検整備や、神室少年自然の家の川遊び体験活動用具の更新など利用者が安全で快適に利用できるように施設の整備・充実に努めた。

4 社会教育推進体制の充実

(1) 県社会教育委員の会議（15名）

あわせて3回の会議を開催し、社会教育の推進と生涯学習の振興のあり方や施策について御意見をいただく機会を得た。特に新規事業についての貴重な御意見を頂戴し、事業実施に反映させることができた。

また、平成30年度事業の策定に向けた各領域に関する意見や、子どもの生活習慣に関する指針の策定に関する意見を多数頂戴した。

更に、第5次県生涯学習振興計画策定に向け、第180回と182回の県社会教育委員の会議は、県生涯学習振興会議と兼ねて行い、熱心な議論をいただいた。

加えて、県社会教育委員の中から、小田島委員、齋藤委員、安藤委員に第5次県生涯学習振興計画策定部会の委員を委嘱し、県社会教育委員の会議特別委員会として、3回実施した。

なお、第182回県社会教育委員の会議は、県生涯学習検討委員会（第4次県生涯学習振興計画の進捗状況の点検・評価）と兼ねて行った。

○第180回県社会教育委員の会議 5月25日(木) 13:30～15:30

県庁講堂 委員11名参加

兼ねて、平成29年度第1回県生涯学習振興会議（第5次山形県生涯学習振興計画策定に向けた意見・提言の場）実施

○第181回県社会教育委員の会議 9月14日(木) 13:30～15:30

県庁講堂 委員12名参加

○第182回県社会教育委員の会議 2月15日(木) 13:30～15:45

県生涯学習センター特別会議室 委員14名参加

兼ねて、平成29年度県生涯学習検討委員会（第4次山形県生涯学習振興計画の進捗状況の点検・評価）、第2回県生涯学習振興会議（第5次山形県生涯学習振興計画の検討）実施

○県社会教育委員の会議 特別委員会（3回）

①第1回特別委員会 6月22日(木) 14:00～16:00

県庁1003会議室

第5次県生涯学習振興計画策定 第1回作業部会として実施

②第2回特別委員会 9月19日(火) 13:30～15:30

県庁1003会議室

第5次県生涯学習振興計画策定 第2回作業部会として実施

③第3回特別委員会 1月29日(月) 13:30～15:30

県庁1003会議室

第5次県生涯学習振興計画策定 第3回作業部会として実施

5 生涯学習推進体制

(1) 生涯学習施設の整備・充実（生涯学習センター事業）

生涯学習振興の中核施設である県生涯学習センター（「遊学館」及びセンター分館：県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行った。

①県生涯学習センターの管理運営

県生涯学習センターについて、指定管理者（公益財団法人山形県生涯学習文化財団）による施設の適切かつ効率的な維持管理運営により、利用者へのサービス向上を図った。

②県生涯学習センターの施設整備

県生涯学習センターの機能維持と安全確保のため、設備の修繕を行った。

③学習情報の収集提供

県民の主体的な学習活動を支援するため、様々な方法により広域的かつ総合的な学習情報を提供した。

ア 学習情報収集・提供事業

県生涯学習情報提供システム、ホームページにより、県民ニーズにあわせた新鮮で確実な各種情報を提供するとともに、学習相談を実施した。

アクセス件数 82,121 件、学習相談 33 件（いずれも平成 30 年 1 月末時点）

イ 長寿社会情報ネットワーク推進事業

明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関連事業を推進し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行った。

ウ 「ふるさと塾」推進事業

「ふるさと塾」に関する映像等を記録、インターネットを通じて公開し、ふるさと塾活動の支援基盤の構築を図った。（平成 30 年 1 月末時点公開数：282 件）

④生涯学習活動支援者の育成

地域における主体的な学習活動を推進するため、各種人材育成事業を実施した。

ア 生涯学習関係職員研修事業（6 月、10 月、8 月）

市町村生涯学習・社会教育関係職員の資質向上のため、研修を行った。

イ 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢者の生きがいづくり・生活支援活動に参加する担い手の育成を行った。【入門講座（7 月）：県内 4 ヶ所、実践講座（8 月～11 月）：県内 2 ヶ所（5 回）、生活支援コーディネーター等スキルアップ研修会（12 月）：県内 1 ヶ所 2 日間、フォローアップ研修（3 月）：県内 2 ヶ所】

ウ シニア地域実践活動支援事業

県内 9 地区の「山形シルバー観光ガイド」の養成及び活動支援を行った。

⑤県民主体の学習機会の提供

県民の幅広い学習ニーズに応えるため、山形学講座等の学習機会を提供した。

ア 「山形学」推進事業（6 月～11 月）

山形の特徴や特性を多面的に捉え、山形に生きることの意義や地域づくりを考える学習機会として、山形学講座（5 回）を開催するほか、「山形学」の入門編として山形学フォーラム、県内外の「地域学」実践団体の情報交換・学びの場として地域学交流集会を開催した。また、講座やフォーラムの学習成果をまとめた「遊学館ボックス」を発刊した。

イ 生涯学習活動普及促進事業

県生涯学習センター事業の内容や成果の報告、県内の活動事例の紹介などを通して、県民の生涯学習への理解が深まるよう広報紙を発行した。(5月、9月、2月、各3,500部)

ウ 「山形学」地域連携講座支援事業(助成:10団体)

山形学の振興を図るとともに、地域に根ざした生涯学習を推進するため、市町村や高等教育機関等が実施する地域学に関する体系的な講座に対して支援を行った。

エ 生涯学習活動支援事業(助成:18団体)

高等学校の文化学習活動、市町村における生涯学習活動など、主体的に生涯学習に取り組む団体の活動を支援した。

オ 生涯学習活動実践団体との連携事業

自主的で創造的な生涯学習活動を実践している団体等と連携し、作家トークショーを行った。

⑥その他生涯学習推進に関する業務

ア 「山形県生涯学習事業企画委員会」の開催

山形県生涯学習事業の推進について、県民各層から広く意見を聞き、これを生涯学習関連事業等の推進に反映させるため「企画委員会」を設置し、意見交換を行った。(2月)

(2) 生涯学習推進委員会

○平成29年度県生涯学習推進委員会 5月19日(金) 県庁1201会議室

本県の生涯学習の推進を図るため、平成25年3月に、「第4次山形県生涯学習振興計画」を策定し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整、その推進を図るため、関係部局によって構成される生涯学習推進委員会を設置している。

進行管理を通じて関係部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう努めるとともに、県ホームページを活用した夏休み前の各部局の生涯学習関係事業の紹介や、子ども教室に対して各部局の出前講座の紹介等を行った。また、具体的な他部局との連携状況を調査し、来年度以降の部局間の横の連携・協働の推進に向けての情報提供を行った。

(3) 第5次山形県生涯学習振興計画策定に向けた取り組み

「第4次山形県生涯学習振興計画」の実施期間が平成29年度までであることから、次期計画となる「第5次山形県生涯学習振興計画」の平成30年3月の策定に向け、各種委員会等を運営した。

①《県生涯学習振興会議》

ア 目的 「第5次山形県生涯学習振興計画(案)」への意見・提言を行う会議。

イ 委員 県社会教育委員が兼ねる

ウ 日程 ・第1回県生涯学習振興会議 平成29年5月25日(木)

(※第180回社会教育委員の会議と兼ねて実施)

・第2回県生涯学習振興会議 平成30年2月15日(木)

(※第182回社会教育委員の会議と兼ねて実施)

②《第5次山形県生涯学習振興計画策定委員会》

ア 目的 「第5次山形県生涯学習振興計画」の策定を行う。

イ 委員 県庁内関係部局各課長

ウ 日程 (今年度3回開催)

③《第5次山形県生涯学習振興計画策定作業部会》

ア 目的

「第5次山形県生涯学習振興計画」の策定に向けた調査・研究、原案作成を行う。

イ 委員 県社会教育委員3名（小田島委員・齋藤委員・安藤委員）

県生涯学習センター学習振興部部長補佐

各教育事務所社会教育課主任社会教育主事4名

ウ 日程 （今年度3回開催）

V その他

1 諸会議

(1) 教育事務所等連絡会議

①教育事務所社会教育課長会議（年間3回開催） ① 4/6～7 ② 9/13 ③ 2/2

②教育事務所社会教育主事会議（年間4回開催） ① 4/10 ② 4/28 ③ 9/6 ④ 2/9

(2) 社会教育施設連絡会議

①県社会教育施設長会議（年間3回開催） ①4/6～7 ②10/17 ③ 2/7

②青少年教育施設研修担当者会議（年間3回開催） ①4/10 ②10/25 ③ 2/14

2 平成29年度文部科学大臣表彰

(1) 優良公民館表彰

2館を推薦し、審査結果待ちの状況

(2) 優良PTA表彰

天童市立荒谷小学校PTA（天童市）

遊佐町立高瀬小学校PTA（遊佐町）

県立山形中央高等学校PTA（山形市）

(3) 社会教育功労者表彰

熊澤 義也 氏（天童市）

沼野 慈 氏（新庄市）

(4) 視聴覚教育・情報教育功労者表彰

今年度は推薦なし

(5) 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）表彰

【学 校】小学校2校を推薦し、審査結果待ちの状況

【図書館】市立米沢図書館（米沢市）

【団 体】おばあちゃんのお話し会（南陽市）

(6) 「地域学校協働活動」推進に係る表彰

「かみのやま寺子屋」 上山小学校放課後子ども教室（上山市）

「吉島小学校支援地域本部」 吉島小地域学校協働活動（川西町）

(7) 「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る表彰

「地域子育て支援事業」 NPO法人『にこっと』（酒田市）

(8) 「障害者の生涯学習支援活動」に係る表彰

「障害者スポーツ・レクリエーション」 尾花沢市身体障害者福祉協会（尾花沢市）